

## 第2回市民病院跡地利用のあり方懇話会（概要）

日 時

平成25年10月31日（木） 19時～20時30分

場 所

舞鶴市政記念館 1F ホール

委 員

（出席）8名

宗本 順三	学識経験者（京都美術工芸大学教授、京都大学名誉教授）
毛谷村 英治	学識経験者（立教大学観光学部教授、京都大学工学博士）
廣瀬 久哲	舞鶴商工会議所
西村 直紘	舞鶴青年会議所
増山 寛一	舞鶴老人クラブ連合会
石橋 恵美	まいづるネットワークの会
大槻 賢孝	市民公募
丹山 剛福	市民公募

（欠席）1名

藤原 隆一	舞鶴自治連・区長連協議会	（敬称略）
-------	--------------	-------

懇話会次第

1. 開会

2. 議事

- ①第1回懇話会のまとめ
- ②病院跡地活用事例の紹介
- ③介護人材養成専門学校誘致に関連する市民病院跡地の活用について
- ④意見交換
- ⑤市民アンケートの実施について
- ⑥今後のスケジュールについて

3. 閉会

（懇話会要旨）

第1回あり方懇話会の再確認を行い、前回に委員から要望のあった情報の提供や、他自治体の病院跡地活用事例を紹介しながら、市民病院跡地の活用方法の議論を行った。

また、市が浜地区の勤労者福祉センター建物に介護人材養成専門学校を誘致することに伴い、現在この建物を利用している勤労者福祉センターなどの移転が必要になるため、市の考えとして、市民病院跡地を移転先の有力候補と考えていることの報告を行った。

市民病院跡地の活用については、市民全体の意見を確認する必要があるため、「市民アンケート」の実施について協議を行い、11月中旬以降に実施することになった。

今後、市民アンケートの集計、分析を経て、来年1月～2月に第3回あり方懇話会の開催を行う。

## ◆議事内容

### ①第1回懇話会のまとめ

第1回懇話会の協議内容等の整理。

### ②病院跡地活用事例の紹介

- ・市立堺病院跡地活用（大阪府堺市）
- ・鹿角組合総合病院跡地活用（秋田県鹿角市）
- ・豊岡病院跡地活用（兵庫県豊岡市）
- ・八尾市立病院跡地活用（大阪府八尾市）

### ③介護人材養成専門学校誘致に関連する市民病院跡地の活用について

舞鶴市が10月18日に発表した「介護人材養成専門学校」の誘致について、市民病院跡地との関連について、市の考え方を説明。

市では、現在の勤労者福祉センターの建物に「介護人材養成専門学校」の誘致を発表したが、この建物は、勤労者福祉センターや東公民館、シルバー人材センターなどが利用しているため、これら施設の移転先が必要になる。

現時点では、様々な方面で移転先の検討をしているが、市の基本的な考えとして、市民病院跡地を「公共施設の再配置」に活用することを視野に入れて検討していることから、適切な移転先がなく、市民病院跡地への移転が相応しいと判断されるものについては、市民病院跡地が有力な候補地になると考えており、その中でも最も新しい「南棟」を有力な候補として考えている。

### ④意見交換

#### 【市民病院跡地利用に関する意見】

- ◆前回の懇話会で、市民病院跡地に文庫山学園の移転提案があったが、文庫山学園は、前島に建設される子育て拠点施設に併設して、お年寄りと子供の交流を図った方が良い。また、行政が運営するのではなく民間に任せた方が、より良いサービスが提供できると考える。
- ◆市民病院跡地を公園にしてはどうか。グラウンド、自然、子どもが水遊びできる川、食事のできる店などがあり、太陽光など自然エネルギーで動かす。太陽光パネルの設置などは、市民参加型の市民共同発電所にすれば、行政の負担も小さくなる。
- ◆街中に公園機能は必要。建物の屋上なども公園として活用可能である。
- ◆文庫山学園の移転、市民の活用できる多目的室、公民館のような施設利用が望ましいと考える。
- ◆雇用創出、高齢者交流施設と商店が一体化となった地域活性化、元病院という特徴を生かした施設など、地域活性化の起爆剤となる施設を望む。
- ◆世界的に注目されているIPS細胞の研究所を誘致してはどうか。雇用に繋がり、研究者も集まる施設になる。舞鶴の特徴を生かせればリゾート型研究所と

して人気を得ることができるのではないか。

- ◆豊岡病院の跡地活用事例（健康増進施設）は良い指針になる。
- ◆小学生以上の子どもが遊べる施設が少ないため、小学生以上の子どもが、天候に関係なく遊ぶことのできる遊具も設置した屋内施設にしてはどうか。
- ◆舞鶴の継承すべき資産（産業・自然・観光・歴史など）を、子どもたちが五感で体験できる場所としてはどうか。
- ◆介護人材専門学校の誘致に伴い、既存施設の移転先として市民病院用地を活用する案は良いと思う。
- ◆各地で様々な跡地活用が行われているが、地方において整備した施設の目的どおりに人を集めることは難しい。如何に人を集めるということが大切。自然に人が来てくれる施設として、ショッピングセンターが一番簡単だが、周りの商業施設に影響を与えるため優先順位は後方。病院や大学、市役所、交通結節点になるターミナル（駅）などは、自然に人が集まる。
- ◆介護専門学校を誘致することは舞鶴にとって良いこと。学生にとって舞鶴で学ぶことが魅力的に見える仕掛けが必要。学生のアルバイト先の提供や、専門学校と既存の医療施設などを上手く連携させ、自然に人が回遊するような仕組みをつくり、まちを活性化しなくてはいけない。市民病院跡地は、そのために利用できるような施設を整備することが良いと考える。
- ◆利用できる施設は活用すべき。
- ◆市民病院の既存施設について、不要な建物は早く除却して維持費を減らすことが重要。そして、使える建物はしっかり使うことが基本。
- ◆民間と重複するような公共施設は集約し、必要な施設の高機能化を図ることが必要。利用者の年代が変化しているため、ニーズの変化に対応した施設のリニューアルが必要である。
- ◆外部の企業や専門学校の誘致などではなく、このまち固有の産業などを養成していく方が良いと考える。
- ◆障害者施設や老人施設を一体化した複合施設として、東公民館などを入れてはどうか。

#### 【まちづくり全般に関する意見】

- ◆最近の学生の多くはアルバイトをしている。介護人材専門学校を誘致されるのであれば、学生のアルバイト先を用意しないと地域は活性化しない。
- ◆舞鶴市は医療施設が充実しているので、誘致する介護人材専門学校は、市内の医療・介護施設と上手く連携していくことが望まれる。
- ◆介護人材専門学校の取り組みとして、学生の介護実習を無料の介護サービスとして提供するような先進的な仕組みを実践し、「介護人材を実践的に育て、社会全体に広げていく仕組み」を持っていることをPRしていくのも良い。
- ◆循環バスなどで、医療施設や介護・児童福祉施設を目に見える形で繋ぐことができれば、魅力的なまちのイメージをつくることができる。
- ◆更に情報系の専門学校（例えば京都コンピューター学院）を誘致して、医療系の情報サービスに関わる人材を育てることができれば、舞鶴は、医療、介護、

健康産業の全てを学べるメッカとして、魅力のあるまちをつくりだせる。

- ◆誘致する専門学校では、介護だけでなく国際観光科を設置して、外国人向けの観光人材を養成するので、クルーズ船で来られる外国人観光客に、舞鶴から通訳ガイドを同行させるサービスを実施できれば、舞鶴は広域観光の拠点として、海外からの観光客の出入り口の役割を果たせる。

【懇話会の運営に関する意見】

- ◆跡地活用の意見を出せと言われても、漠然としていて意見が出しにくい。舞鶴市の案を何点か出してほしい。それに対して意見を出したい。

⑤市民アンケートについて

事務局案のとおり、市民アンケートを実施する。

対 象 者：18歳以上の市民の方から、2,000人を無作為抽出

発送時期：11月中旬

回答期限：12月上旬

⑥今後のスケジュールについて

アンケート 発送時期 11月中旬（予定）

回答期限 12月初旬（予定）

集 計 12月末（予定）

第3回あり方懇話会 1月末～2月初旬開催（予定）

第4回あり方懇話会 2月末～3月初旬開催（予定）